

郵便振替払込
受付証明書
貼付欄

必ず郵便局・銀行
等の窓口で振り込
みください。

申込場所

北海道大学高等教育機能開発総合センター1階 6番公開講座窓口

実施会場

北海道大学情報教育館3階 スタジオ型多目的中講義室

札幌市北区北17条西8丁目

地下鉄「北18条」駅下車徒歩9分(約500m)

中央バス「北18条西5丁目」下車徒歩7分(約400m)



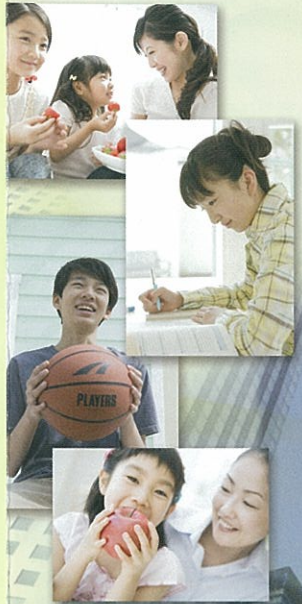
●**自家用車での来学について**
 駐車場狭隘のため、できる限り公共交通機関をご利用ください。やむを得ず自家用車で来学される方は、北20条東門から入構願います。その際入り口ゲートで発券された臨時入構券は、必ず公開講座担当者へ提出し、確認印を受けてください。確認印がないと出構できません。駐車場は高等教育機能開発総合センター北側の駐車場をご利用ください(北13条門から入構した場合、センター北側駐車場へは通り抜けできません)。なお、出構時に入構料として300円を徴収いたしますので、あらかじめご了承ください。



平成22年度
北海道大学公開講座

「変化」を見つめる
ー私たちや地域の未来のためにー

- 申込期間** 平成22年 6/8(火) ▶ 6/23(水)
《土曜、日曜を除く》9:00~17:00
- 実施期間** 平成22年 7/1(木) ▶ 7/29(木)
18:30~20:30
- 会場** 北海道大学情報教育館3階
スタジオ型多目的中講義室
(札幌市北区北17条西8丁目)
- 受講料** 5,000円



講師略歴

第1回 北海道大学准教授 (法学研究科) **吉田 徹**
 平成9年慶應義塾大学法学部卒業、平成17年東京大学総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。日本貿易振興機構、同バリエーションセンター調査担当ディレクター、日本学術振興会特別研究員等を経て、平成18年より現職。専門はヨーロッパ・フランス政治、比較政治学。著書に『ミッテラン社会党の転換』(法政大学出版局)、『二大政党制批判論』(光文社)、共著に『政権交代と民主主義』(東京大学出版会)など。

第2回 北海道大学教授 (理学研究院) **片倉 晴雄**
 昭和45年北海道大学理学部生物学科卒業、昭和53年同大学博士課程単位取得退学。理学博士。北海道大学理学部助手、講師、助教授を経て、平成9年理学研究科教授、平成18年より現職。専門は動物分類学、進化学。日本および東南アジアの植食性のテントウムシやハムシ類を主な研究材料として生殖的隔離、食性の進化、種分化機構の解明に取り組んでいる。

第3回 北海道大学准教授 (低温科学研究所) **白岩 孝行**
 昭和62年早稲田大学教育学部卒業、平成2年北海道大学大学院環境科学研究科博士課程中退。博士(環境科学)。北海道大学低温科学研究所助手・准教授、スイス連邦工科大学客員研究員、総合地球環境学研究所准教授を経て平成22年4月より現職。専門は古気候・古環境変動論。現在は、多国間学術ネットワークとしてのアムール・オホーツクコンソーシアムの枠組み作りに取り組んでいる。

第4回 北海道大学教授 (情報科学研究科) **工藤 峰一**
 昭和58年北海道大学機械工学第二学科卒業、昭和63年同大学大学院工学研究科情報工学専攻修士後期課程修了(工学博士)、同年同大学工学部情報工学科助手、その後、助教授を経て平成13年同大学大学院情報科学研究科コンピュータサイエンス専攻教授。専門はパターン認識。最近では、着席時の姿勢の違いなど身近な生体情報を利用した個人識別にも取り組んでいる。

第5回 北海道大学教授 (観光学高等研究センター) **石森 秀三**
 昭和43年甲南大学経済学部卒業、ニュージーランド国立オークランド大学大学院に留学後、京都大学人文科学研究所研究員を経て、国立民族学博物館助手、助教授、教授、研究部長、研究センター長。平成18年から北海道大学観光学高等研究センター長、大学院観光創造専攻長。観光立国懇談会委員(内閣府)、文化審議会専門委員(文化庁)、国土審議会専門委員(国土交通省)などを歴任。国内外で観光開発に関する調査を行い、次世代ツーリズムに関する共同研究を推進するとともに、観光立国政策の理念に関する提言を行う。

第6回 北海道大学准教授 (メディア・コミュニケーション研究院) **遊川 和郎**
 昭和59年東京外国語大学中国科卒業。昭和56~58年上海復旦大学留学。外務省専門調査員(在香港総領事館)、(株)日興リサーチセンター上海駐在員事務所長等を経て平成10年北海道大学言語文化部助教授。平成13年外務省専門調査員(在中国大使館)、平成19年より現職。著書に『中国を知る』(日経文庫)、『強欲社会主義 中国全球化の功罪』(小学館101新書)など。専門は現代中国研究、中国経済論。

第7回 北海道大学准教授 (高等教育機能開発総合センター) **亀野 淳**
 昭和62年広島大学経済学部卒業、同年労働省入省。経済企画庁、労働省などで雇用政策の立案、経済計画の策定、労働市場の分析などに従事。その後、株式会社たくきん総合研究所、株式会社エコニクスを経て平成13年より現職。専門は人材開発、キャリア教育、労働政策などで、現在は、社会における教育の有用性、人材育成における学校や社会のあり方について研究を行なうとともに、北大においてキャリア教育を担当。

第8回 北海道大学准教授 (文学研究科) **川口 暁弘**
 平成7年学習院大学文学部史学科卒業、平成12年3月学習院大学大学院人文科学研究科史学専攻修士後期課程中退、同年4月より学習院大学文学部史学科助手。平成13年9月より北海道大学大学院文学研究科助教授、制度変更によって准教授となって現在にいたる。日本近代史を専門として、日本人の憲法観を研究している。

「変化」を見つめる ― 私たちや地域の未来のために ―

講座内容

昨年来、米国のオバマ政権誕生や日本での政権交代によって、社会の各分野で「変化」が強く意識されるようになってきました。本公開講座では、この「変化」をキーワードとして、各講師がそれぞれの学問領域における「変化」の捉え方を示すとともに、『そもそも「変化」とは何か』、『何がどう変わりつつあるのか』、『北海道にとってそれはどのように関係しているのか』などについて、ユニークな切り口で迫りながら、私たちの未来を拓く手がかりを探していきます。

申込期間 平成22年6月8日(火)～平成22年6月23日(水)
《土曜、日曜を除く》9：00～17：00

実施期間 平成22年7月1日(木)～平成22年7月29日(木)
18:30～20：30

定員 100名程度 **受講料** 5,000円
※専用の払込票にてお支払いください。払込受付証明書(E票)は、受講申込書の所定の位置に貼付のうえ提出願います。なお、既納の受講料はお返しできませんのでご了承ください。

会場 北海道大学情報教育館3階 スタジオ型多目的中講義室
(札幌市北区北17条西8丁目)

受講資格 18歳以上の方であればどなたでも受講できます。
(学歴・職歴は問いません)

特定回の受講 全8回の講義のうち、定員に余裕がある場合は、特定回のみを受講することが可能です。希望される講義の開催3日前までにご連絡ください。なお、受講料は1回あたり1,500円です。

修了証書 6回以上受講した方には、最終講義終了時に修了証書を交付します。

道民カレッジ 本講座は道民カレッジ連携講座として指定されています。
(環境生活コース 16単位)

申込手続きの流れ

- 1 はじめに、定員の超過の有無をご確認ください。
- 2 定員に余裕がある場合
専用の払込票により、郵便局または銀行等の窓口で受講料をお支払いください。その際、控えとして受け取った「振替払込受付証明書(E票)」は、受講申込み時に必要ですので紛失しないようご注意ください。
- 3 E票を裏面に添付した受講申込書を直接窓口へご持参いただくか、郵送でお申し込みください。

問い合わせ・申込先

国立大学法人北海道大学学務部教務課(教務情報システム担当)
〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 高等教育機能開発総合センター1階6番公開講座窓口(裏面の略図を参照してください)。
TEL 011-706-5429(直通)

日程	講義題目	講師	概要
第1回 7/1(木)	ポスト政権交代の政治学	法学研究科 准教授 吉田 徹	日本政治は歴史的な政権交代を経験し、新たな政治のあり方を模索する時代に突入した。「政権交代のある民主主義」「二大政党制」が実現しつつある今、果たして政権交代はどのようにして起こり、何を意味していたのかを振り返る。また新しい時代において、私たち有権者にはどのような思考や行動が求められるのか、迎えた変化と混迷の時代を、政治学の諸理論を参照しながら考える。
第2回 7/5(月)	生物の変化： 生息環境の変化と進化の 関連を考える	理学研究院 教授 片倉 晴雄	生物進化には二つの側面がある。一つは単一の系統が徐々に元とは違うものに変化してゆくことであり、もう一つは共通の祖先種が複数の子孫種へと分かれてゆくこと(=種分化)である。このうち、種分化機構の解明はダーウィン以来の進化学が解明すべき中心的な課題の一つでありつづけた。ここでは、近年関心が高まっている「環境の変化が種分化に及ぼす影響」について、植食性昆虫の種分化を例として考察する。
第3回 7/8(木)	環境変化と越境的取り組み	低温科学研究所 准教授 白岩 孝行	オホーツク海と親潮域は、世界的にも突出して生産性の高い海洋である。近年、この理由としてアムール川がこれらの海洋にもたらす豊かな鉄の存在が明らかとなった。鉄はアムール川流域の湿原を主たる起源とするが、急速に進む土地利用変化がこの鉄を減少させている。鉄の減少に関わる上流域の農地開発と漁業資源を享受する日本がいかに協同してこの問題に取り組むか。国境を越えた取り組みを紹介する。
第4回 7/12(月)	ネットワーク時代の光と影： 守れるかセキュリティ	情報科学研究科 教授 工藤 峰一	いまや、世界はウェブを中心に回っている。あらゆる種類の文章、画像、映像、音楽が猛烈な勢いで増え続けている。そしてそれらは誰でも自由に手に入れられる。何の価値もなかった「つぶやき」が社会を変えるかもしれない。プロメテウスが人間に与えた火の如く、情報技術が若い世代に与えた新しい「光」は「影」をも生み出す。本講義では、光のもたらす変革の予感を知る一方で自分を守るために影を理解する。
第5回 7/15(木)	観光創造が北海道の未来を拓く	観光学高等研究センター 教授 石森 秀三	北海道はいま大きな曲がり角を迎えている。北海道の未来を拓くためには、4K(環境、健康、教育、観光)に焦点を当てる必要がある。観光はこれまで軽視されてきたが、グローバル化、グリーン化、少子高齢化、成熟社会化などの構造変化を視野に入ると、北海道の未来を拓く切り札の一つになりうる。そのためには従来型観光とは異なる新しい観光の創造が必要になる。観光創造の視点で北海道の未来を考察する。
第6回 7/22(木)	中国の台頭で変わる 世界、日本、北海道	メディア・コミュニケーション研究院 准教授 遊川 和郎	過去30年に及ぶ目覚ましい経済発展で中国はどう変わったのか、また近年の国際社会における台頭は世界にどのような影響を与え、世界はこれとどう向き合おうとしているのだろうか。もちろんそれは、我が国、そして北海道においても無関係ではありえない。中国が存在感を高める背景やそれに伴う国際秩序の変化、経済活動の様相を分かりやすく読み解き、今後の方向性を考えたい。
第7回 7/26(月)	北海道の雇用を創る ―産業、大学教育、人材育成―	高等教育機能開発総合センター 准教授 亀野 淳	厳しい雇用環境の中、雇用を創出することが重要な政策課題であり、北海道はよりその側面が大きい。雇用を創出するためには、中長期的な視点で産業を育成していくことが重要であるが、そのためには産業を支える人材の育成が不可欠である。この人材育成に大学教育は役立っているのか、どのような役割を果たしているのか、などについて諸外国とも比較しながら考えてみたい。
第8回 7/29(木)	日本近代史の変化と不変	文学研究科 准教授 川口 暁弘	日本近代史はペリー来航(1853)にはじまって玉音放送(1945)でおわる。この約90年間におこった変化ははげしかった。その反動で、国粋主義や日本主義がおこった。こうした理解ですむならば学問は要らない。変化のなかに変化への抵抗を見出し、不変をほころぶ物事に変化を見出してこそ学問である。前者の例として昭和戦前期の政権交代、後者の例に国体をとって、近代日本にとっての変化と不変を考える。

自家用車での来学について

駐車場狭隘のため、できる限り公共交通機関をご利用ください。やむを得ず自家用車で来学される方は、北20条東門から入構願います。その際入り口ゲートで発券された臨時入構券は、必ず公開講座担当者へ提出し、確認印を受けてください。確認印がないと出構できません。駐車場は高等教育機能開発総合センター北側の駐車場をご利用ください(北13条門から入構した場合、センター北側駐車場へは通り抜けできません)。なお、出構時に入構料として300円を徴収いたしますので、あらかじめご了承ください。

平成22年度 北海道大学公開講座 受講申込書

フリガナ 氏名	年代 (__〇歳代) 男・女
〒	
現住所	
TEL ()	-

(アンケート)下記に該当する部分に○をつけてください。

問1. あなたはこの講座をどのようにして知りましたか。

<input type="checkbox"/>	1. 新聞
<input type="checkbox"/>	2. インターネット
<input type="checkbox"/>	3. 受講案内(直接送付されたもの)
<input type="checkbox"/>	4. 受講案内(学習センター・図書館・ちえりあに置いてあったもの)
<input type="checkbox"/>	5. 受講案内(ふれあい広場に置いてあったもの)
<input type="checkbox"/>	6. 道民カレッジガイドブック・ホームページ
<input type="checkbox"/>	7. 友人・知人からの誘い
<input type="checkbox"/>	8. その他()

問2. 受講を申し込むにあたり、どなたかを誘われましたか。

<input type="checkbox"/>	1. 友人
<input type="checkbox"/>	2. 知人
<input type="checkbox"/>	3. 家族
<input type="checkbox"/>	4. その他

問3. 誘った結果はどうでしたか。

<input type="checkbox"/>	1. 申し込んだ
<input type="checkbox"/>	2. 申し込まなかった
<input type="checkbox"/>	3. わからない

問4. あなたは過去に大学が主催する公開講座を受講したことがありますか。

<input type="checkbox"/>	1. ある
<input type="checkbox"/>	2. ない

問5. 問4で「ある」と答えられた方は、以下から該当するもの全てをお選びください。

<input type="checkbox"/>	1. 北海道大学の全学企画の公開講座を受講したことがある。
<input type="checkbox"/>	2. 北海道大学の各研究科等が主催する公開講座を受講したことがある。
<input type="checkbox"/>	3. 北海道大学以外の大学公開講座を受講したことがある。

問6. あなたは道民カレッジの学生になっていますか。

<input type="checkbox"/>	1. はい カレッジ生番号()
<input type="checkbox"/>	2. いいえ

問7. 今後、受講案内の送付を希望しますか。

<input type="checkbox"/>	1. はい
<input type="checkbox"/>	2. いいえ

・担当者記入欄

日付	番号
----	----

※申込書に記入した個人情報には本学の行事等の案内以外には利用いたしません。